



2021年3月期 第1四半期決算短信 (米国基準) (連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 安原 弘展

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 三宅 弘晃

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	28,551	△39.7	△4,472	—	△2,918	—	△3,195	—
2020年3月期第1四半期	47,313	△4.2	3,644	△17.1	1,520	△83.0	1,192	△81.0

(注) 四半期包括利益 2021年3月期第1四半期 △4,729百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △495百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△51.20	△51.20
2020年3月期第1四半期	18.33	18.26

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	298,280	202,277	198,895	66.7	3,187.29
2020年3月期	277,688	209,448	205,371	74.0	3,291.06

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	20.00	60.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年 3月期の連結業績予想 (2020年 4月 1日～2021年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	70,500	△30.5	△3,200	—	△2,500	—	△2,400	—	△38.46
通期	158,000	△15.4	△5,000	—	△3,700	—	△3,700	—	△59.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	65,589,042 株	2020年3月期	68,589,042 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,186,454 株	2020年3月期	6,186,410 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	62,402,618 株	2020年3月期1Q	65,025,473 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 P.6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する説明	P. 2
（2）連結財政状態に関する説明	P. 6
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 8
（1）四半期連結貸借対照表	P. 8
（2）四半期連結損益計算書	P. 10
（3）四半期連結包括損益計算書	P. 10
（4）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
（5）四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
（継続企業の前提に関する注記）	P. 12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P. 12
（セグメント情報等）	P. 12
（6）販売の状況	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

①当第1四半期の業績

(単位：百万円)

	2020 年 3 月期 第 1 四半期 連結累計期間	2021 年 3 月期 第 1 四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	47,313	28,551	△18,762	△39.7%
売上原価	20,406	13,271	△7,135	△35.0%
売上利益	26,907	15,280	△11,627	△43.2%
販売費及び一般管理費	23,263	19,752	△3,511	△15.1%
営業利益（△損失）	3,644	△4,472	△8,116	—
その他の収益・費用	814	730	△84	△10.3%
A：有価証券・投資評価損益（純額）	△2,938	824	+3,762	—
税引前四半期純利益（△損失）	1,520	△2,918	△4,438	—
当社株主に帰属する四半期純利益（△損失）	1,192	△3,195	△4,387	—
参考情報：Aを考慮しない税引前四半期純利益（△損失）	4,458	△3,742	△8,200	—

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～6月30日）における当社グループを取り巻く経営環境は、世界規模での新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大の影響を受け、事業展開を行うすべての国・地域において外出制限や営業活動の自粛などの措置がとられたことから、非常に厳しいものとなりました。このような状況の下、当社グループでは再成長に向けた方針を下記のとおり策定し、高収益の経営体質の構築に向けた取り組みを進めています。

【基本方針】	お客さま・従業員・お取引先の、「健康・安全」を最優先として対応
【短期的な方針】	経営悪化を踏まえたコスト削減の実行と、財務基盤の安定性確保 ・事業領域全般にわたり、これまでの施策や支出計画の見直しの実行 ・感染症の長期化に備えた、手元流動性の強化 ・売上減少に伴う過剰在庫の回避に向けた生産調整
【中長期的な方針】	バリューチェーンの徹底的な点検と改革の実行 ～「高収益の経営体質」に向けた転機に～ ・現状のコストストラクチャーの見直し（固定費削減に向けた取り組みの推進） ・国内・海外ともに、デジタル・トランスフォーメーションの取り組み加速 ・お客さまとのタッチポイントの見直し・再整備（変化する主要チャネルへの対応） ・「新しい生活様式」で顧客が待ち望む商品・サービスの開発、新たな接客や販売スタイルへの対応力強化

当第1四半期連結累計期間の売上高は、感染症の拡大影響に伴う消費者の外出自粛や実店舗の休業によって、すべての事業セグメントが減収となったことから、前年同期に比べ39.7%減少し285.5億円となりました。

営業損益は、事業環境の悪化を受け、コスト削減に取り組んだものの、大幅な減収影響による売上利益の減少分を補うには至らず、44.7億円の営業損失（前年同期：36.4億円の営業利益）となりました。なお、当連結会計期間における売上利益率については、在庫評価損の増加などが影響し、3.4ポイント悪化しています。

税引前四半期純損益は、その他の収益・費用合計が前年同期に比べ36.8億円増加しましたが、営業損失を吸収するには至らず、29.2億円の損失（前年同期：15.2億円の税引前四半期純利益）となりました。なお、有価証券・投資評価損益（純額）については評価益8.2億円を計上しています。

(当社は米国会計基準を採用しており、当社および連結子会社が保有する持分証券を公正価値で評価し、期初からの変動を「その他の収益・費用」で計上しています)

当該期間の為替換算レートは、1 米ドル＝107.62 円 (前年同期109.90 円)、1 英ポンド＝133.52 円 (同141.16 円)、1 中国元＝15.60 円 (同16.33 円) です。

②オペレーティング・セグメントの営業概況

※当第 1 四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、[添付資料] P. 12 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」の「①オペレーティング・セグメント情報 (注) 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。下記の前年同期の数値については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	構成比	第1四半期実績	構成比	増減額	増減率
売上高合計	47,313	100.0%	28,551	100.0%	△18,762	△39.7%
ワコール事業 (国内)	26,583	56.2%	15,529	54.4%	△11,054	△41.6%
ワコール事業 (海外)	13,597	28.7%	7,847	27.5%	△5,750	△42.3%
その他	7,133	15.1%	5,175	18.1%	△1,958	△27.4%

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	売上比	第1四半期実績	売上比	増減額	増減率
営業利益 (△損失)	3,644	7.7%	△4,472	—	△8,116	—
ワコール事業 (国内)	1,974	7.4%	△3,058	—	△5,032	—
ワコール事業 (海外)	1,862	13.7%	△1,027	—	△2,889	—
その他	△192	—	△387	—	△195	—

(参考) 主要子会社の売上高・営業利益 (△損失)

(単位：百万円)

売上高	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	構成比	第1四半期実績	構成比	増減額	増減率
ワコール	25,465	53.8%	13,603	47.6%	△11,862	△46.6%
ワコールインターナショナル(米国)	5,039	10.7%	3,404	11.9%	△1,635	△32.4%
ワコールヨーロッパ	3,517	7.4%	1,668	5.8%	△1,849	△52.6%
中国ワコール	3,112	6.6%	1,733	6.1%	△1,379	△44.3%
ピーチ・ジョン	2,587	5.5%	2,538	8.9%	△49	△1.9%
ルシアン	1,329	2.8%	996	3.5%	△333	△25.1%
七彩	1,973	4.2%	1,235	4.3%	△738	△37.4%

※外部売上高のみを記載しています。

(単位：百万円)

営業利益（△損失）	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	売上比	第1四半期実績	売上比	増減額	増減率
ワコール	1,322	5.2%	△2,543	—	△3,865	—
ワコールインターナショナル(米国)	868	17.2%	△837	—	△1,705	—
ワコールヨーロッパ	338	9.6%	△224	—	△562	—
中国ワコール	429	13.8%	117	6.8%	△312	△72.7%
ピーチ・ジョン	△42	—	241	9.5%	+283	—
ルシアン	△104	—	△103	—	+1	—
七彩	10	0.5%	△181	—	△191	—

a. ワコール事業（国内）

当該セグメントの売上高は、感染症の拡大影響に伴う店舗休業や外出自粛による消費の低迷などの影響により、前年同期に比べ41.6%の減少となりました。営業損益については、経費削減に取り組んだものの、ワコールの減収が影響し30.6億円の営業損失となりました。

【ワコール】

ワコールの売上高は、前年同期に比べ46.6%の減少となりました。感染症の拡大影響により消費者行動やマインドが大きく変化する中、自社EC事業については、睡眠時専用ブラジャー「ナイトアップブラ」やルームウェアなど巣ごもり需要を捉えた商品の販売が好調に推移し、91%の増加となりました。しかしながら、4月7日の緊急事態宣言の発令から5月下旬の解除に至るまで、百貨店、大型量販店、直営店など多くの実店舗が臨時休業した影響は極めて大きく、大幅な減収となりました。なお、緊急事態宣言解除後の6月度の店頭ベースの売上は全体的に回復傾向となりましたが、量販店チャネルが前年同月を超える一方で、大都市中心部の百貨店は来店客数が回復せず、苦戦が続きました。また、得意先の仕入枠の抑制などの影響を受けて納品が減少したため、卸売事業の売上は低調な推移となりました。

営業損益は、25.4億円の営業損失（前年同期：13.2億円の営業利益）となりました。急激な売上減少に伴い、経費削減に努めたものの、減収による影響を吸収するには至らず、営業損失となりました。

b. ワコール事業（海外）

邦貨換算後の当該セグメントの売上高は、感染症の拡大影響に伴う各国政府のロックダウン（都市封鎖）措置や店舗の臨時休業の影響に加え、円高による影響（△2.5億円）もあり、前年同期に比べて42.3%の減少となりました。主要市場である米国、中国、欧州のみならず、東南アジア諸国（シンガポール、フィリピンなど）における売上も大きく減少する結果となりました。

営業損益は、10.3億円の営業損失（前年同期：18.6億円の営業利益）となりました。各事業会社で経費削減に取り組みましたが、大幅な減収影響により営業損失となりました。

【ワコールインターナショナル（米国）】

ワコールインターナショナル（米国）の現地通貨ベースの売上高は、前期の第2四半期連結会計期間から連結対象となった Intimates Online, Inc.（以下、「I0社」）の売上高8.2百万ドル（8.8億円）を取り込みましたが、感染症の拡大影響に伴う百貨店など実店舗の休業が響き、前年同期に比べ31.0%の減少（邦貨換算ベースでは32.4%の減少）となりました。「I0社」が展開するDNVB「LIVELY」は、積極的な広告投下が奏功し、感染症の環境下においても高い成長を維持しました。また、「Wacoal」や「b. tempt' d」などのブランドを展開する米国ワコールのEC事業も伸張しました。しかしながら、主要都市におけるロックダウン措置に伴う百貨店の臨時休業の

影響が大きく、減収となりました。

現地通貨ベースの営業損益は、「LIVELY」ブランドへの戦略的な成長投資によって「IIO 社」が 4.3 百万ドルの営業損失（邦貨換算ベースでは 4.7 億円の営業損失）となったことに加え、米国ワコールの減収影響もあり、7.8 百万ドルの営業損失（邦貨換算ベースでは 8.4 億円の営業損失）となりました。（前年同期：7.9 百万ドルの営業利益（邦貨換算ベースでは 8.7 億円の営業利益））

【ワコールヨーロッパ】

ワコールヨーロッパの現地通貨ベースの売上高は、感染症の拡大影響により売上が低迷し、前年同期に比べ 49.8%の減少（邦貨換算ベースでは 52.6%の減少）となりました。当第 1 四半期累計期間における各地域の売上は、英国が 65%の減少、欧州が 41%の減少、北米が 46%の減少となっています。なお、英国におけるロックダウンは徐々に緩和されており、一部百貨店で感染症の拡大防止に向けて営業時間の短縮を実施していますが、6 月末時点で、ほぼすべての店舗が営業を再開しています。

現地通貨ベースの営業損益は、政府による支援策を活用しつつ、諸経費の削減に努めましたが、減収の影響を吸収するには至らず、1.7 百万ポンドの営業損失（邦貨換算ベースでは 2.2 億円の営業損失）となりました。（前年同期：2.4 百万ポンドの営業利益（邦貨換算ベースでは 3.4 億円の営業利益））

【中国ワコール】

中国ワコールの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ 41.7%の減少（邦貨換算ベースでは 44.3%の減少）となりました。感染症の拡大影響により実店舗の売上は大幅に減少しましたが、EC モール事業者との連携強化とともに、新しい顧客層開拓に向けて「AMPHI」ブランドを積極的に展開したことが奏功し、他社 EC を通じた販売は高い成長を維持しました。

現地通貨ベースの営業利益は、71.7%の減少（邦貨換算ベースでは 72.7%の減少）となりました。経費の削減に加え、政府の支援策の活用が寄与したことで、黒字を確保することができました。

d. その他

当該セグメントの売上高は、前期に比べ 27.4%の減少、営業損益は、3.9 億円の営業損失（前期は 1.9 億円の営業損失）となりました。

【ピーチ・ジョン】

ピーチ・ジョンの売上高は、積極的なマーケティング活動が奏功したことで国内は前年同期を上回りましたが、海外の低迷が響き、1.9%の減少となりました。なお、国内の自社 EC 事業は、主力商品が好調に推移したことに加え、SNS を活用したコミュニケーションの強化による新規顧客の訪問数増加が寄与し、大幅な売上増加となりました。

営業利益は、主力商品および自社 EC 売上の構成比の高まりによる売上利益率の改善効果のほか、店舗休業に伴う賃借料の減免が寄与し、2.4 億円の黒字（前年同期：0.4 億円の営業損失）となりました。

【ルシアン】

ルシアンの売上高は、得意先の仕入枠の抑制などの影響などにより、量販店や専門店向けのプライベートブランド商品の売上が低迷した結果、前年同期に比べ 25.1%減少しました。営業損益は、前期の第 4 四半期に実施した不採算事業の撤退効果に加え、販管費などの削減を進めたものの、減収の影響が大きく、1.0 億円の営業損失（前年同期：1.0 億円の営業損失）となりました。

【七彩】

七彩の売上高は、感染症の拡大影響に伴う新規出店や各種イベントの中止・延期が影響し、前年同期に比べ 37.4%の減少となりました。営業損益は、減収の影響により、1.8 億円の営業損失（前年同期：0.1 億円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債、株主資本等の状況

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は、手元流動性の確保を目的として現金及び現金同等物を積み増したことなどにより、前連結会計年度末に比して 205 億 92 百万円増加し、2,982 億 80 百万円となりました。

負債の部も、同様の理由で短期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して 277 億 63 百万円増加し、960 億 3 百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して 64 億 76 百万円減少し、1,988 億 95 百万円となりました。

以上の結果により、当第 1 四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して 7.3 ポイント減少し、66.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して 208 億 21 百万円増加し、487 億 26 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純損失 32 億 54 百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、97 億 65 百万円の支出（前年同期は 17 億 63 百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、16 億 42 百万円の支出（前年同期に比し 13 億 34 百万円の支出増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは非支配持分からの子会社持分取得による支出や、配当金及び条件付取得対価の支払などに対し、借入による収入の影響が大きく、323 億 21 百万円の収入（前年同期は 18 億 82 百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		前期比	
	前期実績	売上比	当期見込	売上比	増減額	増減率
売上高	186,760	—	158,000	—	△28,760	△15.4%
営業利益（△損失）	6,632	3.6%	△5,000	—	△11,632	—
税引前当期純利益（△損失）	4,359	2.3%	△3,700	—	△8,059	—
当社株主に帰属する当期純利益（△損失）	3,472	1.9%	△3,700	—	△7,172	—
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益（△損失）	54.26円	—	△59.29円	—	—	—

(単位：百万円)

セグメント別売上高	2020年3月期		2021年3月期		前期比	
	前期実績	構成比	当期見込	構成比	増減額	増減率
売上高合計	186,760	100.0%	158,000	100.0%	△28,760	△15.4%
ワコール事業（国内）	106,112	56.8%	92,000	58.2%	△14,112	△13.3%
ワコール事業（海外）	50,552	27.1%	41,500	26.3%	△9,052	△17.9%
その他	30,096	16.1%	24,500	15.5%	△5,596	△18.6%

(単位：百万円)

セグメント別営業利益（△損失）	2020年3月期		2021年3月期		前期比	
	前期実績	売上比	当期見込	売上比	増減額	増減率
営業利益（△損失）	6,632	3.6%	△5,000	—	△11,632	—
ワコール事業（国内）	6,121	5.8%	△2,100	—	△8,221	—
ワコール事業（海外）	1,493	3.0%	△1,800	—	△3,293	—
その他	△982	—	△1,100	—	△118	—

2021 年 3 月期の通期連結業績予想は、上表のとおりです。なお、有価証券・投資評価損益による業績の変動影響は織り込んでおりません。主要な為替レートは、1 米ドル＝108.00 円、1 英ポンド＝134.00 円、1 中国元＝15.30 円を見込んでおります。

2021 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、「2020 年 3 月期決算短信〔米国基準〕（連結）」の公表時には、感染症の拡大影響により、当社グループに与える影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりました。しかしながら、国内外における緊急事態宣言の解除やロックダウン措置の緩和などにより経済活動が徐々に再開していることから、2021 年 3 月期第 1 四半期の業績及び現時点において入手可能な予測等を踏まえ、連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。新型コロナウイルスの収束時期は見通せないものの、上記の通り経済活動は徐々に再開しており、地域によって差はあるものの、消費環境は概ね第 2 四半期以降緩やかに回復するものと見ております。

また、本連結業績予想にあたっては、感染症による再度の大規模な経済活動の停滞については想定しておらず、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を公表いたします。

利益分配に関する基本方針及び 2021 年 3 月期の配当

当社は、株主の皆さまへの利益分配に関しては、収益力向上のための積極的な投資によって企業価値を高め、1 株当たり当期純利益の増加を図るとともに、連結業績を考慮しつつ安定的な配当を実施させていただくことを基本方針としています。

内部留保金については、企業価値向上の観点から、国内事業における顧客接点の拡大や、海外事業拡大のための積極的な投資に加えて、競争力の維持や成長力強化のための戦略的投資に活用し、将来の収益向上を通して、株主の皆さまへの還元を図らせていただきたいと考えています。

しかしながら、感染症が当社グループに与える影響は甚大であり、収束時期が見通せない状況においては、手元流動性を確保することが喫緊の課題であります。現段階の業績予想、財務の安定及び株主の皆様への安定配当等の観点から、中間配当予想は前期実績から 20 円減配の 1 株当たり 20 円、期末配当予想は前期実績と同額の 1 株当たり 20 円とさせていただきます。これにより、年間配当予想は 1 株当たり 40 円となります。

株主の皆さまには深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	27,905	48,726	20,821
定期預金	797	735	△ 62
有価証券	656	542	△ 114
売掛債権	20,062	16,690	△ 3,372
貸倒引当金	△ 489	△ 495	△ 6
たな卸資産	43,427	45,177	1,750
返品資産	868	451	△ 417
その他の流動資産	4,964	7,559	2,595
流動資産合計	98,190	119,385	21,195
II. 有形固定資産			
土地	21,460	21,431	△ 29
建物及び構築物	74,039	74,008	△ 31
機械装置及び工具器具備品等	18,782	18,989	207
建設仮勘定	1,090	970	△ 120
	115,371	115,398	27
減価償却累計額	△ 63,288	△ 63,741	△ 453
有形固定資産合計	52,083	51,657	△ 426
III. その他の資産			
オペレーティングリース 使用権資産	13,540	13,140	△ 400
関連会社投資	21,595	20,489	△ 1,106
投資	43,904	44,723	819
のれん	22,371	22,189	△ 182
その他の無形固定資産	14,547	14,484	△ 63
前払年金費用	4,974	5,152	178
繰延税金資産	1,118	1,442	324
その他	5,366	5,619	253
その他の資産合計	127,415	127,238	△ 177
資産合計	277,688	298,280	20,592

科 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	3,364	38,049	34,685
買掛債務			
支払手形	1,112	1,210	98
買掛金	9,588	7,513	△ 2,075
未払金	7,107	3,831	△ 3,276
	17,807	12,554	△ 5,253
未払給料及び賞与	6,734	5,432	△ 1,302
未払税金	4,878	1,610	△ 3,268
返金負債	2,645	1,826	△ 819
短期オペレーティング リース負債	4,600	4,509	△ 91
条件付取得対価に係る負債 (短期)	—	1,077	1,077
その他の流動負債	4,079	7,660	3,581
流動負債合計	44,107	72,717	28,610
II. 固定負債			
長期債務	35	1,207	1,172
退職給付に係る負債	2,069	2,057	△ 12
繰延税金負債	7,911	7,325	△ 586
長期オペレーティング リース負債	9,101	8,802	△ 299
条件付取得対価に係る負債 (長期)	2,786	1,681	△ 1,105
その他の固定負債	2,231	2,214	△ 17
固定負債合計	24,133	23,286	△ 847
負債合計	68,240	96,003	27,763
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,836	29,110	△ 726
III. 利益剰余金	185,233	172,386	△ 12,847
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	△ 1,033	△ 2,499	△ 1,466
年金債務調整勘定	△ 4,594	△ 4,435	159
V. 自己株式	△ 17,331	△ 8,927	8,404
株主資本合計	205,371	198,895	△ 6,476
VI. 非支配持分	4,077	3,382	△ 695
資本合計	209,448	202,277	△ 7,171
負債及び資本合計	277,688	298,280	20,592

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	百万円
I. 売上高	47,313	100.0	28,551	100.0	△ 18,762
II. 営業費用					
売上原価	20,406	43.1	13,271	46.5	△ 7,135
販売費及び一般管理費	23,263	49.2	19,752	69.2	△ 3,511
営業費用合計	43,669	92.3	33,023	115.7	△ 10,646
営業利益(△損失)	3,644	7.7	△ 4,472	△ 15.7	△ 8,116
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	87		17		△ 70
支払利息	△ 6		△ 12		△ 6
受取配当金	810		651		△ 159
有価証券・投資評価損益(純額)	△ 2,938		824		3,762
その他の損益(純額)	△ 77		74		151
その他の収益・費用合計	△ 2,124	△ 4.5	1,554	5.5	3,678
税引前四半期純利益(△損失)	1,520	3.2	△ 2,918	△ 10.2	△ 4,438
法人税等	469	1.0	619	2.2	150
持分法による投資損益調整前 四半期純利益(△損失)	1,051	2.2	△ 3,537	△ 12.4	△ 4,588
持分法による投資損益	179	0.4	283	1.0	104
四半期純利益(△損失)	1,230	2.6	△ 3,254	△ 11.4	△ 4,484
非支配持分帰属損益	△ 38	△ 0.1	59	0.2	97
当社株主に帰属する四半期純利益 (△損失)	1,192	2.5	△ 3,195	△ 11.2	△ 4,387

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日)		増減金額
	百万円		百万円		百万円
I. 四半期純利益(△損失)	1,230		△ 3,254		△ 4,484
II. その他の包括損益 一 税効果調整後					
為替換算調整勘定	△ 1,931		△ 1,634		297
年金債務調整勘定	206		159		△ 47
その他の包括損益 合計	△ 1,725		△ 1,475		250
四半期包括損益	△ 495		△ 4,729		△ 4,234
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 70		227		297
当社株主に帰属する四半期包括損益	△ 565		△ 4,502		△ 3,937

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益(△損失)	1,230	△ 3,254
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	1,384	1,481
(2)貸倒引当金(純額)	31	17
(3)繰延税金	△ 658	△ 895
(4)固定資産除売却損益(純額)	22	25
(5)有価証券・投資評価損益(純額)	2,938	△ 824
(6)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	341	244
(7)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少	953	3,266
たな卸資産の増加	△ 1,984	△ 2,055
返品資産の減少(△増加)	△ 0	417
その他の流動資産等の増加	△ 2,091	△ 2,626
買掛債務の減少	△ 1,176	△ 3,780
返金負債の増加(△減少)	113	△ 819
退職給付に係る負債の増加	264	50
その他の負債等の増加(△減少)	335	△ 968
(8)その他	61	△ 44
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,763	△ 9,765
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 122	△ 87
2. 定期預金の減少額	1,156	122
3. 持分証券の売却及び償還収入	—	3
4. 持分証券の取得	△ 53	△ 3
5. 負債証券の償還収入	330	108
6. 有形固定資産の売却収入	11	0
7. 有形固定資産の取得	△ 775	△ 711
8. 無形固定資産の取得	△ 864	△ 772
9. 貸付による支出	—	△ 315
10. その他	9	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 308	△ 1,642
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	1,945	14,261
2. 短期借入金(3ヶ月超)の調達	—	20,430
3. 長期債務の調達	—	1,184
4. 長期債務の返済	△ 13	△ 13
5. 自己株式の取得	△ 1,400	△ 0
6. 当社株主への配当金支払額	△ 2,346	△ 1,248
7. 非支配持分への配当金支払額	△ 184	△ 15
8. 非支配持分からの払込みによる収入	116	—
9. 非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△ 1,190
10. 条件付取得対価の支払	—	△ 1,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,882	32,321
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 562	△ 93
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 989	20,821
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	30,133	27,905
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	29,144	48,726

補足情報

現金支払額		
利息	6	5
法人税等	3,689	6,366
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	571	455

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	26,583	13,597	7,133	47,313	—	47,313
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	279	2,907	1,465	4,651	△ 4,651	—
計	26,862	16,504	8,598	51,964	△ 4,651	47,313
営業利益(△損失)	1,974	1,862	△ 192	3,644	—	3,644

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	15,529	7,847	5,175	28,551	—	28,551
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	142	2,393	929	3,464	△ 3,464	—
計	15,671	10,240	6,104	32,015	△ 3,464	28,551
営業損失(△)	△ 3,058	△ 1,027	△ 387	△ 4,472	—	△ 4,472

(注) 1. 各事業の主な製品

ワコール事業(国内) …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他

ワコール事業(海外) …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維関連商品他

その他 …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維関連商品、マキシン人形、店舗設計・施工他

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、当社グループ内の業績管理区分の一部見直しに伴い、従来「ワコール事業(国内)」セグメントに含めていたA i及び「ピーチ・ジョン事業」セグメントを「その他」セグメントへ含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

3. オペレーティング・セグメント別資産関連情報

当第1四半期連結累計期間において、資金の借入を実行したことなどにより、「ワコール事業(国内)」セグメントの資産が前連結会計年度末に比して24,307百万円増加しております。その結果、「ワコール事業(国内)」セグメントの資産は当第1四半期連結会計期間末において、261,701百万円となっております。

② 地域別情報

前第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	33,420	5,630	8,263	47,313
構成比	70.6%	11.9%	17.5%	100.0%
営業利益	1,858	669	1,117	3,644

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	20,479	3,277	4,795	28,551
構成比	71.7%	11.5%	16.8%	100.0%
営業損失(△)	△ 3,347	△ 89	△ 1,036	△ 4,472

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: アジア諸国、オーストラリア

欧 米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第1四半期連結累計期間 自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日		増 減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション・ランジェリー	百万円 36,786	% 77.8	百万円 22,099	% 77.4	百万円 △ 14,687	% △ 39.9
	ナイトウェア	1,993	4.2	1,471	5.1	△ 522	△ 26.2
	リトルインナー	347	0.7	129	0.5	△ 218	△ 62.8
	計	39,126	82.7	23,699	83.0	△ 15,427	△ 39.4
アウターウェア・スポーツウェア等		3,185	6.7	1,842	6.5	△ 1,343	△ 42.2
レッグニット		485	1.0	183	0.6	△ 302	△ 62.3
その他繊維製品及び関連製品		1,935	4.1	1,365	4.8	△ 570	△ 29.5
その他		2,582	5.5	1,462	5.1	△ 1,120	△ 43.4
合 計		47,313	100.0	28,551	100.0	△ 18,762	△ 39.7